

森林・林業・林産業活性化促進

十和田市議会議員連盟

視察報告（八月一日～二日）

東北森林管理局

三八上北森林管理署

○森林・林業の現状について

署長から次の説明を受けました。

林業の現状として、戦後に造成された約一万ヘクタールの人工林が本格的な利用期を迎えていること。成長を続ける森林は天然資源が乏しい日本にとって貴重な資源であること。森林には国土の保全や水源の涵養など多面的な機能があること。素材価格は昭和五十五年をピークに下降が続いていたが、スギとカラマツは平成二十一年以降横ばいであること。国産材の供給量は増加していること。

林業の成長産業化に向けて、木材需要の創出（公共建築物の木造化ほか）、国産材の安定供給（施業集約化の加速化ほか）、多面的機能の維持向上（鳥獣被害対策の強化ほか）

の三本の柱で取り組んでいること。

○治山工事現場の視察

近年の大雨などで立惣辺沢上流部で溪岸浸食及び山腹の拡大崩壊が発生しました。当該箇所の上部は市営の放牧場であり、大雨で崩壊の拡大、溪床に堆積した不安定土砂の流出が懸念されることから、崩壊斜面の安定化と不安定土砂の流出防止を図るため、山腹工及び谷止工を施工し、国土保全及び景観の維持向上を確保してまいりました。既に工事は終了しており、山腹には谷止工の鋼板が見えているが、今後雑木や広葉樹が生え、工事した箇所が見えなくなった状態が最終形とのことでした。

この周辺には同様の崩壊拡大が懸念される箇所が多くあり、市でも対策を考える必要性を感じました。

下北地方森林組合

○施業集約化と低コスト

林業の取り組み

同組合は平成九年にむつ市、川内町、北通地方の三組合が合併し誕生しました。管内の市町村は、むつ市、大間町、風間浦村、佐井村です。

特徴的な取り組みは、人前では細かな要望や本音が聞き出せないことから地道に戸別訪問し集約化を勧めること、地域の今後の山づくりの要望を取り入れること、空き家問題ならぬ空き山林問題にも対応することなどです。今後の課題は造林補助金の確保、森林所有者の情報取得、人材の育成などです。「森林組合に任せておけば山のことは心配いらない」と言ってもくらのよう取り組んでいくとのことでした。



中央の右奥が施工部分

常任委員会 所管事務調査報告

各常任委員会にて実施した所管事務調査の内容についてお知らせします。

総務文教常任委員会

「三本木中学校建設事業の進捗状況について」

・既存の校舎と体育館を使いながら建設する配置計画で、生徒の意見を取り入れ進めているとの説明を受ける。

⇒生徒からの意見内容を聞いたかったとの要望や、駐輪場の有効利用についてなどの意見が出された。

「消防団員の活動について」

・団員数が減少する中で消防団協力事業所をふやすことが課題との説明を受ける。

⇒先進事例の調査などをして、企業へ協力を求める働きかけを進めてほしいと意見集約した。

「駐車場料金の徴収方法について」

・大きな大会等開催時は職員を配置していることや出口精算方式にした経緯について説明を受ける。

⇒交通安全上からも出口精算方式のままでよいが、混雑解消策を検討してほしいと意見集約した。

「少子化に伴う学校統廃合の見通しについて」

・複式学級がある学校でアンケート調査を実施したとの説明を受ける。

⇒今後は地区懇談会で説明し進めることを確認した。

民生福祉常任委員会

「中央病院人間ドック受診の状況について」

・平成27年度の年間利用率について説明を受ける。
・現在2系統ある予約システムの一元化を図るほか、他病院への紹介もしていくとのこと。

⇒予約ができない場合でも、別の日を提案するなど利用率の向上に努めてほしいと意見集約した。

「地域介護予防活動支援事業の取り組み状況について」

・介護予防事業の充実、地域づくり支援体制の強化への取り組みについて説明を受ける。

・特に高齢者の冬期の過ごし方が課題とのこと。

⇒市を挙げてやっていくという気構えで、今後も計画・提案をしてほしいと意見集約した。